

令和5年度 スポーツ施策の進捗状況 (重点施策)

○第3期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率 110%以上
A	" 100%以上110%未満
B	" 85%以上100%未満
C	" 70%以上 85%未満
D	" 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

令和5年9月末時点

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P35

施策の方向性	(1) 身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による子どものスポーツ環境づくりの取組 ・エリアごとに連携する取組の推進 ・民間活力や県版地域おこし協力隊による市町村の取組支援
---------------	-------------------------	----------------	--

事業概要	子どものスポーツ環境整備事業 市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める。
-------------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 運動やスポーツが好きな子どもが増加している 	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数:34市町村 ②広域で連携した取組が展開できているエリア数: 6 エリア ③子どもの体力・運動習慣の向上: 小中学生の男女とも全国平均を上回る	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数:14市町村 ②広域で連携した取組が展開できているエリア数: 1 エリア ③子どもの体力・運動習慣の向上: 小中学生の男女とも全国平均を上回る

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数: 14市町村</td> <td>100%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>②広域で連携した取組が展開できているエリアの数: 0 エリア</td> <td>0%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③子どもの体力・運動習慣の向上: 小中学生の男女とも全国平均を上回る</td> <td>-</td> <td>※12月公表</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数: 14市町村	100%	A	②広域で連携した取組が展開できているエリアの数: 0 エリア	0%	D(A)	③子どもの体力・運動習慣の向上: 小中学生の男女とも全国平均を上回る	-	※12月公表	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ少年団や運動部活動に所属する子どもが減少傾向にあるとともに、加入率は全国平均よりも低い ● 地域によっては、子ども達がスポーツを続けられる環境が十分でない ● 指導者不足やイベントの減少などにより、子どものスポーツ実施につなげる取組が十分に行われていない
区分	到達状況	評価											
①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数: 14市町村	100%	A											
②広域で連携した取組が展開できているエリアの数: 0 エリア	0%	D(A)											
③子どもの体力・運動習慣の向上: 小中学生の男女とも全国平均を上回る	-	※12月公表											

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援（4月～） ・地域の現状や課題の把握、県の取組の方向性の共有（4月～5月） ・市町村事業の充実に向けた市町村への働きかけ（10月～） ・部活動における部活動指導員の配置 ・部活動の地域連携等の取組 <p>(2) 広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域スポーツハブ促進委員会（6エリア）の設置（6月～7月） ・子ども（5歳～中学生）とその保護者へのアンケートの実施（7月～9月） ・指導者に関するアンケート調査の実施（7月～9月） ・広域で連携する取組に関するアクションプランの作成（～3月） <p>(3) 民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県スポーツコミッションによる指導者講習会等の開催（9月～） （講習会テーマ案） 地域の特色を生かしたスポーツ振興 部活動地域移行・連携に関する全国的な取り組み 指導者の資質に関するテーマ（例：グッドコーチになるための心得） ・指導者の育成・確保に向けた取組の実施（6月～） 新たな地域スポーツ指導者の養成 ICT等を活用したオンライン指導のモデル的な実証・検証 指導者バンクの一元的な運用体制の検証 <p>(4) 県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置要項、募集要項の策定 ・県版地域おこし協力隊の配置 ・県版地域おこし協力隊による子どものスポーツ環境づくりへの支援 	<p>(1) 市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援(6市町村) ・市町村訪問等によるヒアリング（33市町村：4月～6月） ・運動部活動指導員の配置 高等学校：22校55部54人 県立中学校：3校6部7人 市町村立中学校：16市町村36校100部67名 ・部活動の地域連携等の取組 部活動地域移行の実証事業を実施：4市町 部活動の地域連携等を検討する協議会の設置：14市町村 高知県における部活動地域連携・地域移行検討会（7月） <p>(2) 広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村訪問等によるヒアリング（33市町村：4月～6月） ・第1回広域スポーツハブ促進委員会（地域における子どものスポーツ環境づくり検討会）の開催 （幡多8/8、高幡8/9、仁淀川8/23、嶺北8/24、安芸8/28、物部川8/29） ・子ども（5歳～小学生）とその保護者へのアンケートの実施（9月） <p>(3) 民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県スポーツコミッションとの定例会 月1回開催 （4/13、5/24、6/29、7/20、8/31） ・新たな地域スポーツ指導者の養成に向けた大学生・専門学校生への意識調査の実施（7月） <p>(4) 県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置要項、募集要項の策定・県版地域おこし協力隊の募集（5月） ・応募者の書類審査（1名）（8月）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもや保護者へのアンケート結果を基に、市町村と課題を共有し、市町村が行う取組を支援（アクションプランの作成等）する ● 地域によって課題が異なることから、市町村ごとの課題を整理するとともに、エリア内で課題を共有し、地域にあった解決策を検討する（新規事業の提案、同一地域内での情報共有、取り組みが遅れている市町村への支援等） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村事業では、スポーツ体験会などスポーツを始めるきっかけづくりを行う取組は多いが、スポーツを継続させる取組が少ない ● 地域におけるスポーツニーズが十分に把握できていない ● 地域によっては、自分に合ったスポーツを見つける・続ける場が少ない ● 幼児・児童期における運動（遊びを含む）の重要性を保護者やスポーツ関係者に広げ、取組を拡充する必要がある ● 移動手段が確保できず、やりたいスポーツができなかったり、保護者への負担増が懸念される

見直しの方向性	子どものスポーツ環境づくりを行う市町村事業の充実 ○子どものスポーツ環境づくりにおいて、整備する具体的な場を明確にし、市町村の取組を支援する
----------------	--

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P39

施策の方向性	(1) 身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充	主要な取り組み	・多様なスポーツに出会う機会の提供
--------	-------------------------	---------	-------------------

事業概要	<p>高知県パスウェイシステム事業（マッチングプログラム） スポーツの楽しさを知り、スポーツに親しむ子どもを増やすため、親子で楽しむ運動プログラムや自分の運動特性を知ることができる体力測定、多様な種目の体験会などを県内各地で提供する</p>
------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●運動やスポーツが好きな子どもが増加している ●地域ごとのスポーツ参加が拡大している 	①マッチングプログラムの参加者数：9,500人	①マッチングプログラムの参加者数：3,036人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①マッチングプログラムの参加者数：453人</td> <td>15%</td> <td>D(A)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①マッチングプログラムの参加者数：453人	15%	D(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域によっては、子ども達が多様なスポーツに出会い、始める機会が少なく、スポーツ活動が限定されている
区分	到達状況	評価					
①マッチングプログラムの参加者数：453人	15%	D(A)					

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) マッチングプログラム ・定員：R5年度1,420名 ・回数：R5年度21回 【実施時期】 6月から12月末（予定） ○マッチングⅠ…親子で運動に親しむ。年中から小学3年生が対象 I-1…日本トップリーグ機構主催『あそびバ!』を3地域で実施（340名） I-2…対象年代にあった運動プログラムを3地域で実施（500名） ○マッチングⅡ…自分に合った競技を見つける。小学3～6年生が対象 II-1…スポーツ能力発見協会の体力測定会を2地域で実施（300名） II-2…競技体験教室の実施。3地域で開催（180名） ○マッチングⅢ…県民のニーズに応えた内容であり、R4年度より追加 III…中山間地域や学校をターゲットにスポーツ体験教室を10回実施</p> <p>(2) 高知くろしおキッズ R5年度在籍数キッズ：73名 【実施回数】 育成プログラム年間21回+2回（5年生は3回） ・競技プログラム（17回）全16種目 ・トレーニングプログラム・知的プログラム（4回） ・合宿プログラム（1回） ・スペシャルプログラム（1回） ⇒オリンピックや著名なスポーツ選手等による競技体験や講話 ・四国交流プログラム（1回）※5年生のみ、愛媛県で開催予定 ⇒愛媛・香川のタレント生との競技体験プログラム</p> <p>①広報活動の工夫及び強化 ・くろしおキッズのユニフォームを作成・キッズへ提供 ・活動内容の定期的な情報発信（SNSの有効活用） ・キッズ及び修了生の大会成績等の情報共有・発信</p> <p>②育成プログラムの質の向上 ・プログラム後、講師の具体的なフィードバック及び種目適性評価の実施 ・自宅でのトレーニングの充実（トレーニング動画の提供・資料の共有） ・プログラム検討会の実施 ・アンケートの実施（対象：キッズ、保護者、講師、関係者等）</p>	<p>(1) マッチングプログラム(実施状況) I-1…「あそびバ!」 0/3回 I-2…「遊びの広場」 1/3回(9/3:366人) II-1…「スポーツ能力測定会」 0/2回 II-2…「キッズスポーツ体験会」 1/3回(9/3:21人) III…「出張スポーツ体験教室」 2/10回(6/22:16人,8/20:50人) ※参加者累計:453人</p> <p>○I-1「あそびバ!」 ①10月1日（日）：中芸広域体育館（予定） ②10月8日（水）：土佐西南大規模公園（予定） ③10月14日（土）：青少年体育館（予定）</p> <p>○I-2「遊びの広場」 ①9月3日（日）：宿毛市総合運動場（実施済） ②11月12日（日）：高知市総合運動場多目的ドーム（予定） ③11月26日（日）：安芸市多目的体育館（予定）</p> <p>○II-1「スポーツ能力測定会」 ①10月21日（土）：宿毛市和田体育館（予定） ②10月22日（日）：高知県立青少年センター（予定）</p> <p>○II-2「キッズスポーツ体験会」 ①9月3日（日）：宿毛市総合運動場（実施済） ②11月12日（日）：高知市総合運動場多目的ドーム（予定） ③11月26日（日）：安芸市多目的体育館（予定）</p> <p>○III「出張スポーツ体験教室」 ①開催場所：四万十町立米奥小学校（6/22） 内容：「ポッチャ体験」（16人参加） ②開催場所：南国市スポーツセンター（8/20） 内容：「野球教室」（50人参加） ③開催場所：中芸広域体育館結いの丘ドーム（10/1予定） 内容：「ラグビー体験教室」 ④開催場所：土佐西南大規模公体育館（10/8予定） 内容：「バスケットボール教室」 ⑤開催場所：香美市立舟入小学校（12/4予定） 内容：「ダンス体験」</p> <p>(2) 高知くろしおキッズ ※P8に記載</p>

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●今年度のプログラムについて、様々な機会を捉えて周知を徹底する ●次年度に向けて、より多くの参加者が得られるようプログラム内容や開催地域、開催頻度を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度を実施する今後のプログラムにおいて、より多くの参加が得られるように効果的な周知を行うことが必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■プログラム内容の充実 ■計画的なプログラムの開催（一定期間に県内全域をカバーできるよう開催）
---------	--

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P36

施策の方向性	(2) 担い手の育成及び活動の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格のスポーツ指導者の育成 ・スポーツ指導者の発掘及びマッチング ・スポーツ推進委員の研修
---------------	--------------------	----------------	---

事業概要	スポーツ指導者の育成及びマッチング ※障害者スポーツに関する取組は「障害者がスポーツに親しめる環境づくり」に記載 有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・確保する。
-------------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●地域地域でスポーツを支援する人材の育成・確保が進んでいる 	①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格 : 1,419人 (R4) → 1,560人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格 : 207人 (R4) → 227人	①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格 : 1,419人 (R4) → 1,448人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格 : 207人 (R4) → 211人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：*人</td> <td>-</td> <td>※10月公表</td> </tr> <tr> <td>・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人</td> <td>103%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：*人	-	※10月公表	・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人	103%	A	<ul style="list-style-type: none"> ●有資格のスポーツ指導者は増加傾向にあるが、さらに増やす必要がある ●運動部活動の地域連携・地域移行などに伴い、地域のスポーツ指導者の確保が今後さらに求められる ●スポーツ推進委員は年齢層が高く、人材の確保が懸念されている
区分	到達状況	評価								
①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：*人	-	※10月公表								
・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人	103%	A								

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) スポーツ指導者育成及びマッチング</p> <p>①指導者の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村を通じた指導者へのアンケートの実施(7月～9月) 主な対象：スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者、総合型地域SC関係者 ・地域の指導者のリスト化に向けた関係団体等との調整(6月～9月) ・地域の指導者のリスト化(9月～10月) ・新たな指導者の発掘(11月～) <p>②指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームによるトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会(6月、11月) ・日本パラスポーツ協会指導員要請講習会の開催(1月～) ・高知県スポーツコミッションによる指導者講習会等の開催(9月～) (講習会テーマ) 地域の特色を生かしたスポーツ振興 部活動地域移行・連携に関する全国的な取り組み 指導者の資質に関するテーマ(例：グッドコーチになるための心得) <p>③指導者のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体や市町村等の依頼に応じて指導者を紹介(随時) ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者体制の整備(6月～) ICT等を活用したオンライン指導のモデル的な取組の実証・検証 指導者バンクの一元的な運用体制の検証 <p>(2) スポーツ推進委員の活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催(初任者研修会(7月)、県研修会(12月)) ・各地区が行う研修会等への支援(随時) 	<p>(1) スポーツ指導者育成及びマッチング</p> <p>①指導者の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ等への指導者に関するアンケートの実施(9月) <p>②指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームによるトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ※7/21時点で12競技が実施 ・日本スポーツ協会公認指導者(スタートコーチ)養成講習会(6/11開催:修了者43名、11/11開催予定) ・日本パラスポーツ協会初級指導員要請講習会(1月～) ・日本パラスポーツ協会中級指導員要請講習会(前期:6/28開催、後期:1/31開催予定) ・高知県スポーツコミッションによる指導者講習会等の開催(9月～) ・新たな地域スポーツ指導者の養成に向けた大学生・専門学校生への意識調査の実施(7月)【再掲】 <p>③指導者のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会・スポーツ協会・県が保有する指導者リストによる紹介(7月末現在:問合せ1件) ・高知県スポーツコミッションとの定例会月1回開催【再掲】(4/13、5/24、6/29、7/20、8/31) <p>(2) スポーツ推進委員の活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催(初任者研修会 実技:モルック(7/30))

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●地域のスポーツ指導者に関する調査を行い、具体的なニーズや課題を把握し、市町村に情報提供する ●保護者や地域のスポーツ関係者などに、スポーツを支える役割を担ってもらうための取組を検討し、広域スポーツハブ促進委員会で提案 ●競技経験のない大人が子どもと関われる運動・スポーツの活動や、幼児期のスポーツの必要性に関する理解啓発の取組を検討 ●指導者のマッチングに関する情報の周知 ●高知県スポーツ推進委員連絡協議会において、スポーツ推進委員の重点施策・取組目標を設定し、取組状況を広く周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村では、スポーツ指導者に関する情報が少ない ・スポーツを所管する部署は、マンパワー不足などから地域のスポーツに関する現状の詳細を把握することが難しい ●スポーツ少年団の活動などでは、コーチを引き受ける人材の確保に苦慮している ●市町村などから県や県スポーツ協会などに対して、スポーツ指導者の確保のための依頼(問合せ)が少ない ●スポーツ推進委員の活動を地域住民に知ってもらうことが必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村が行う子どものスポーツ活動に関わる指導者等の発掘・育成の支援 ■スポーツ指導者やスポーツを支える人材を対象とした研修会の充実
----------------	---

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(3) 障害者がスポーツに親しめる環境づくり	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者と地域のスポーツ活動とのマッチング ・パラスポーツを体験する機会の提供 ・全国や世界を目指す選手の活動支援 ・障害者スポーツの大会誘致
---------------	------------------------	----------------	--

事業概要	障害者スポーツ推進事業 障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る。
-------------	---

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
●障害者のスポーツ参加が拡大している	①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数：37団体 ②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数：6エリア ③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：25人 ④中央競技団体への登録者数：220人 ⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：5 ⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：227人	①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数：29団体 ②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数：2エリア ③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：5人 ④中央競技団体への登録者数：198人 ⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1 ⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：211人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数：27団体</td> <td>93%</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数：1エリア</td> <td>50%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：0人</td> <td>0%</td> <td>D(B~A)</td> </tr> <tr> <td>④中央競技団体への登録者数：*人</td> <td>-</td> <td>※年度末に集計</td> </tr> <tr> <td>⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1</td> <td>100%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：218人</td> <td>103%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数：27団体	93%	B	②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数：1エリア	50%	D(A)	③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：0人	0%	D(B~A)	④中央競技団体への登録者数：*人	-	※年度末に集計	⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1	100%	A	⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：218人	103%	A	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者がスポーツ活動できる場が少なく、高知市周辺に集中している ●全国や世界を目指して活動している障害者は増加傾向にあるものの、まだ少なく、そうした活動を支援する体制も十分でない ●障害者スポーツを支えるパラスポーツ指導員はまだ少ない ●障害者スポーツに関心がある者の割合は高いとは言えず、障害者のスポーツ大会等を間近で見られる機会も少ない
区分	到達状況	評価																				
①障害者がスポーツ活動をすることができる団体数：27団体	93%	B																				
②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数：1エリア	50%	D(A)																				
③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：0人	0%	D(B~A)																				
④中央競技団体への登録者数：*人	-	※年度末に集計																				
⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1	100%	A																				
⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：218人	103%	A																				

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 障害者スポーツの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県立障害者スポーツセンターを核とした取組の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツコーディネーターによるスポーツ機会の提供 ②障害者スポーツ大会の開催 ③全国大会に出場する選手への支援 ④パラスポーツ指導員の育成（初級・中級） <p>(2) 身近な場所におけるスポーツ機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市町村事業の充実に向けた市町村への働きかけ（4月～） ②障害者スポーツ推進プロジェクト事業（国事業） ③パラスポーツ体験イベントの開催 <p>(3) 全国や世界を目指す選手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全国や世界を目指す選手の活動支援（通年） ②有望選手の発掘・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・日本パラスポーツ協会のJスタープロジェクト(陸上)の実施（9月） ・パラスポーツ体験会における選手の掘り起こし（3月） <p>(4) 障害者のスポーツ大会誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車いすラグビー大会の開催（7月） 	<p>(1) 障害者スポーツの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コーディネーターによる個別・団体支援や現場での指導（4月～） ②障害者スポーツ大会の開催（5/28ほか）※参加者：615名 ③全国大会に出場する選手への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・選考会の開催（6月）・選手、役員への派遣通知（9月） ・強化練習実施（9月：2回、10月：3回） ④パラスポーツ指導員の育成（初級・中級） <ul style="list-style-type: none"> ・公認中級パラスポーツ指導員養成講習会への派遣（1名）（前期日程：6/28～7/2） ・初級パラスポーツ指導員養成講習会のカリキュラム案策定（9月） <p>(2) 身近な場所におけるスポーツ機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市町村事業の充実に向けた市町村への働きかけ（33市町村） ②障害者スポーツ推進プロジェクト事業（国事業） <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスを通じたインクルーシブなスポーツ活動事業 不採択（7月） ③パラスポーツ体験イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・連携企業及び関係団体との協議（6月、9月） <p>(3) 全国や世界を目指す選手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全国や世界を目指す選手の活動支援（通年） <ul style="list-style-type: none"> ・特別強化選手の指定：10名 ・活動助成：団体7/個人32名 ②有望選手の発掘・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・日本パラ陸連との発掘・育成における連携に向けた協議（9月） <p>(4) 障害者のスポーツ大会誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車いすラグビー大会「Freedom Cup2023」の開催（7/15・16）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●障害者とスポーツ活動をマッチングする取組において、関係者の意見交換の場を設定し、地域の実情に応じた対応を検討・実施 ●インクルーシブなスポーツ活動を推進する取組を検討 ●障害者スポーツ選手を発掘・育成・強化する仕組みや体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域によっては、パラスポーツ指導員が少なく、関係者の連携が十分でない状況から障害者のスポーツ活動への支援が進みにくい ●障害者が生涯にわたってスポーツに親しむことができるようにするためには、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめる「インクルーシブなスポーツ活動」を増やすことが必要であるが、活動のノウハウが少ないことや、理解が十分に深まっていない ●障害者スポーツ選手を発掘・育成・強化する仕組みが確立されておらず、選手をサポートする体制が不十分

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■地域におけるインクルーシブなスポーツ活動の推進 ■障害者スポーツ選手を発掘・育成する取組の強化
----------------	---

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

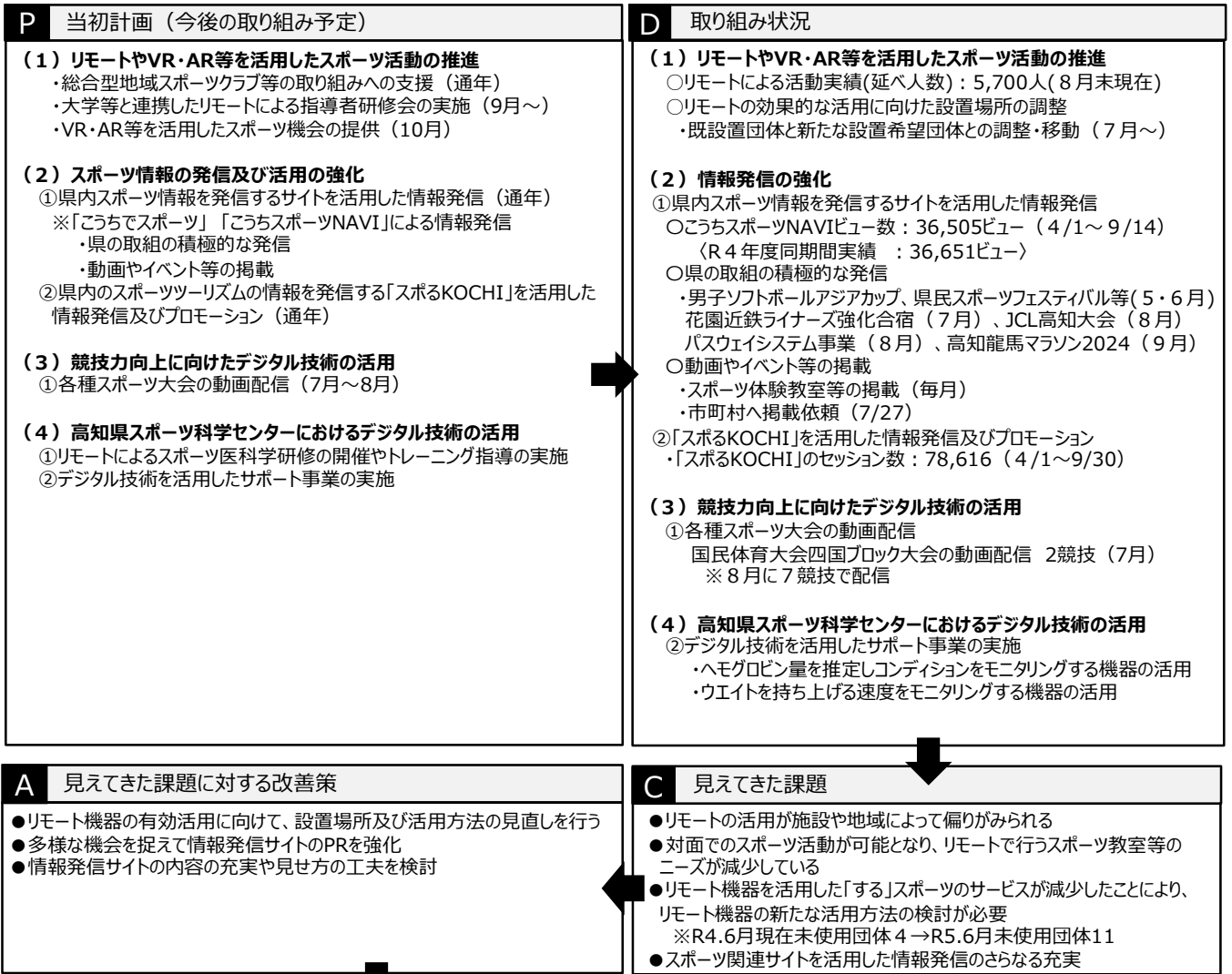
施策の方向性	(5) デジタル技術の活用	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートやVR・AR等を活用したスポーツ活動の推進 ・スポーツ情報の発信・活用の強化 ・競技力向上に向けたデジタル機器の活用 ・高知県スポーツ科学センターにおけるデジタル技術の活用
---------------	---------------	----------------	--

事業概要	デジタル技術の活用 中山間地域などにおけるリモートを活用したスポーツ活動の推進や各種スポーツ情報の発信強化を行うとともに、競技力向上のための指導・研修などをデジタル技術を用いて効果的に推進する
-------------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
●スポーツにおけるデジタル技術の活用が進んでいる	①リモートによる活動への参加者数：10,840人 ②「スポーツNAVI」のページビュー数：11万 ③「スポるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション／毎年	①リモートによる活動への参加者数：8,286人 ②「スポーツNAVI」のページビュー数：79,880ページビュー ③「スポるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション／毎年

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①リモートによる活動への参加者数：5,700人</td> <td>69%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>②「スポーツNAVI」のページビュー数：36,505</td> <td>46%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③「スポるKOCHI」のセッション数：78,616セッション</td> <td>108%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①リモートによる活動への参加者数：5,700人	69%	D(A)	②「スポーツNAVI」のページビュー数：36,505	46%	D(A)	③「スポるKOCHI」のセッション数：78,616セッション	108%	A	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域においては、スポーツを行うための移動に負担がかかる場合がある ●アフターコロナにおいてスポーツを効果的に続ける環境づくりが必要 ●「する」「みる」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツを楽しむことが求められており、デジタル技術を活用するなどして、より気軽にスポーツに触れ合うことができる工夫が必要 ●選手の育成・強化においてデジタル技術の活用はまだ少ない
区分	到達状況	評価											
①リモートによる活動への参加者数：5,700人	69%	D(A)											
②「スポーツNAVI」のページビュー数：36,505	46%	D(A)											
③「スポるKOCHI」のセッション数：78,616セッション	108%	A											

令和5年度の取り組み状況



見直しの方向性	●リモート機器の効果的な活用の促進 ●集まってスポーツを「見る」・「応援する」機会へのリモート機器の活用 ●情報発信の強化
----------------	---

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性	(1) 全国や世界を目指す選手の育成	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体による組織的な活動の推進 ・障害者の競技力向上支援及び選手の発掘
---------------	--------------------	----------------	--

事業概要	<p>競技力向上に向けた強化事業</p> <p>競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医科学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる</p>
-------------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●全国や世界の舞台上で活躍する選手が多くの競技で育っている ●障害者のスポーツ活動において全国や世界を目指す選手が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ①全国中学校体育大会の入賞競技数：9 ②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数：15 ③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：30 ④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数：25人 	<ul style="list-style-type: none"> ①全国中学校体育大会の入賞競技数：8 ②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数：11 ③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：22 ④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数：5人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①全国中学校体育大会の入賞競技数：7</td> <td>88%</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数：9</td> <td>82%</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16</td> <td>73%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数：0人</td> <td>0%</td> <td>D(B~A)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①全国中学校体育大会の入賞競技数：7	88%	B	②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数：9	82%	C	③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16	73%	D(A)	④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数：0人	0%	D(B~A)	<ul style="list-style-type: none"> ●各競技団体の実情に応じた競技力の底上げが必要 ●アフターコロナにおける競技団体ごとの活動の充実が必要 ●スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体はまだ少ない ●全国や世界を目指して活動している障害者は増加傾向にあるものの、まだ少なく、そうした活動を支援する体制も十分でない
区分	到達状況	評価														
①全国中学校体育大会の入賞競技数：7	88%	B														
②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数：9	82%	C														
③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16	73%	D(A)														
④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数：0人	0%	D(B~A)														

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) RPDCA（進捗管理シート）による競技力強化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPDCA（進捗管理シート）による各競技の実状に応じた育成・強化の充実（全競技） ・全高知チームによる重点強化（15競技） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 水泳、陸上、サッカー、柔道、剣道、ラグビー、レスリング、ソフトボール、卓球、ライフル射撃、バドミントン、カー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール </div> <p>(2) 各競技団体等における組織運営（ガバナンス・コンプライアンス）の支援及び強化</p> <p>※ガバナンスコード:スポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体における組織運営への支援（通年） ・スポーツ少年団における組織運営への支援（通年） <p>(3) スポーツ医科学の活用</p> <p>①パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 ・SSC活用強化策利用競技団体を中心としたヒアリングの実施 ・体力測定、各種サポートの実施 <p>②研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技別コーディネーター（各競技団体が配置している医科学担当者）の資質向上（年間2回の講習会） <p>(4) 障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全国や世界を目指す選手の活動支援（通年） ②有望選手の発掘・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・日本パラスポーツ協会のJスタープロジェクト(陸上)の実施（9月） ・パラスポーツ体験会における選手の掘り起こし（3月） 	<p>(1) RPDCA（進捗管理シート）に基づく競技力強化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPDCAシート初期分提出（4月・全40競技団体） ・RPDCAシート1期分提出（7月・全40競技団体） ・全高知チーム（15競技）の認定（4月） ・全高知チームによる強化練習（随時） ・国民体育大会第44回四国ブロック大会（6～8月） <ul style="list-style-type: none"> ※四国ブロック大会の突破率：19.0%（R4:20.5%） 特別国民体育大会会期前競技（9月16～24日） 入賞競技数：3競技 入賞数：14 獲得得点：70.5点 <p>(2) 各競技団体における組織運営（ガバナンス・コンプライアンス）の支援及び強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体に対してガバナンスコードについて説明（4月～5月） <p>(3) スポーツ医科学の活用</p> <p>①パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用強化策の年間計画の作成及び進捗管理 強化策実施競技団体：28団体（年間計画作成完了（4/7）） ・SSC活用強化策実施競技団体を中心としたヒアリングの実施（適宜） ・体力測定、各種サポートの実施（実績は9月末現在） * 体力測定の実施：4月（153名）5月（135名）6月（66名）7月（129名）8月（78名）9月（36名） （一般29名、専門568名）合計597名 * 各種サポートの実施（外部サポートを含む）：4月（291名）5月（364名）6月（404名）7月（204名）8月（824名）9月（281名） 【コンディショニング1,798名（272回）、栄養302名（18回）メンタル157名（19回）、映像199名（16回）】 （サポートータル2,456名、325回） <p>②研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回スポーツ医・科学研修会（令和6年2月予定） ・指導者講習会（全5回）（土佐清水地域：10/29） ・サポートスタッフ研修会（全14回） コンディショニング（7/20・8/30） 栄養（6/10） <p>(4) 障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成</p> <p>※障害者スポーツ推進事業に記載</p>

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●競技団体との連絡・調整・進捗管理の徹底 ●各個人の課題克服に向けて、SSCの活用などの具体的な提案を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●各競技団体において、国民体育大会「本大会」に向けた計画的な調整が必要 ●競技団体のSSCの活用について、計画どおりに進んでいない競技団体が見られる ●スポーツ医科学の活用について、個々の選手の課題に対応するきめ細かなアプローチが必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ジュニア選手のさらなる育成 ■スポーツ医科学サポートの充実
----------------	---

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性	(2) 担い手の育成及び活動の活性化 (4) 産学官民の連携によるスポーツを支える体制の充実	主要な取り組み	・競技団体による組織的な活動の推進 ・障害者の競技力向上支援及び選手の発掘
---------------	---	----------------	--

事業概要	スポーツ医科学の活用 スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを実施する
-------------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ指導者の指導力が向上している ●競技力の向上につながる持続可能で効果的な支援体制が充実している 	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：30 ②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：200人以上／毎年 ③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数：35人	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：22 ②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：200人以上／毎年 ③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数：35人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16</td> <td>73%</td> <td>C(A)</td> </tr> <tr> <td>②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人</td> <td>7%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数：21人</td> <td>60%</td> <td>D(A)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16	73%	C(A)	②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人	7%	D(A)	③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数：21人	60%	D(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ指導者に、スポーツの楽しみ方や興味・関心がわくような指導ができる人が求められている ●高知県スポーツ科学センターが協力を得られている関係者が限定的 ●スポーツ指導者等への指導力向上のための出張指導や研修事業のさらなる充実
区分	到達状況	評価											
①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数：16	73%	C(A)											
②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人	7%	D(A)											
③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数：21人	60%	D(A)											

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 ・SSC活用強化策利用競技団体を中心としたヒアリングの実施 ・体力測定、各種サポートの実施 <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技別コーディネーター（各競技団体が配置している医科学担当者）の資質向上（年間2回の講習会） ・サポートチームスタッフ（SSCに登録されたスポーツ医科学面から選手をサポートする各分野の専門スタッフ）の資質向上及び育成（年間8回の講習） ・地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの資質向上（年間5回の研修） ・上記研修会等のリモートでの実施検討 <p>(3) 研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによるスポーツ医科学情報（動画を含む）の発信 ・ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）ネットワーク連携機関（体力測定）によるHPSCとの連携 <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ・年間2回の実施（7月、2月） 	<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 強化策活用競技団体：28団体 年間計画作成完了（4/7） ・SSC活用強化策利用競技団体を中心としたヒアリングの実施（適宜） ・体力測定、各種サポートの実施（実績は9月末現在） <ul style="list-style-type: none"> * 体力測定の実施：4月（153名）5月（135名）6月（66名）7月（129名）8月（78名）9月（36名） （一般29名、専門568名）合計597名 * 各種サポートの実施（外部サポートを含む）：4月（291名）5月（364名）6月（404名）7月（204名）8月（824名）9月（281名） 【コンディショニング1,798名（272回）、栄養302名（18回）メンタル157名（19回）、映像199名（16回）】 （サポートトータル2,456名、325回） <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医・科学研修会（令和6年2月予定） ・指導者講習会（全5回）（土佐清水地域：10/29） ・サポートスタッフ研修会（全14回） コンディショニング（7/20・8/30） 栄養（6/10） ※SSCと連携する外部スタッフ数：19人（8月末） <p>(3) 研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramを活用して広報活動を実施 ・SSC利用者に対してQRコードを活用したアンケートの実施 <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（7/19） 第2回（2月予定）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●広報活動の強化 ●競技団体との連絡・調整・進捗管理の徹底 ●各個人の課題克服に向けて、SSCの活用などの具体的な提案を行う ●利用者からの意見をより多く把握するために、QRコードを活用したアンケートの継続実施 ●競技団体等の活用のさらなる増加に向けたSSCの運営体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●競技団体のSSCの活用について、計画どおりに進んでいない競技団体が見られる ●スポーツ医科学の活用について、個々の選手の課題に対応するきめ細かなアプローチが必要 ●利用者の満足度等を把握するためのアンケートへの協力が少ない

見直しの方向性	■ SSCのスタッフ体制の充実
----------------	-----------------

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性

(1) 全国や世界を目指す選手の育成

主要な取り組み

・県内各地の優秀なタレントの発掘・育成

事業概要

高知県バスウェイシステム事業（高知くろしおキッズ）

県内の運動能力に優れた小学生を発掘し、さらに運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来有望な選手を発掘・育成し、県内の競技団体につなげる

令和9年度末の目指す姿

●全国や世界の舞台上で活躍する選手が多く競技で育っている

令和9年度の到達目標

①マッチングプログラムの参加者数：9,500人
②高知くろしおキッズに応募する子どもの数：200人

令和5年度の到達目標

①マッチングプログラムの参加者数：3,036人
②高知くろしおキッズに応募する子どもの数：156人

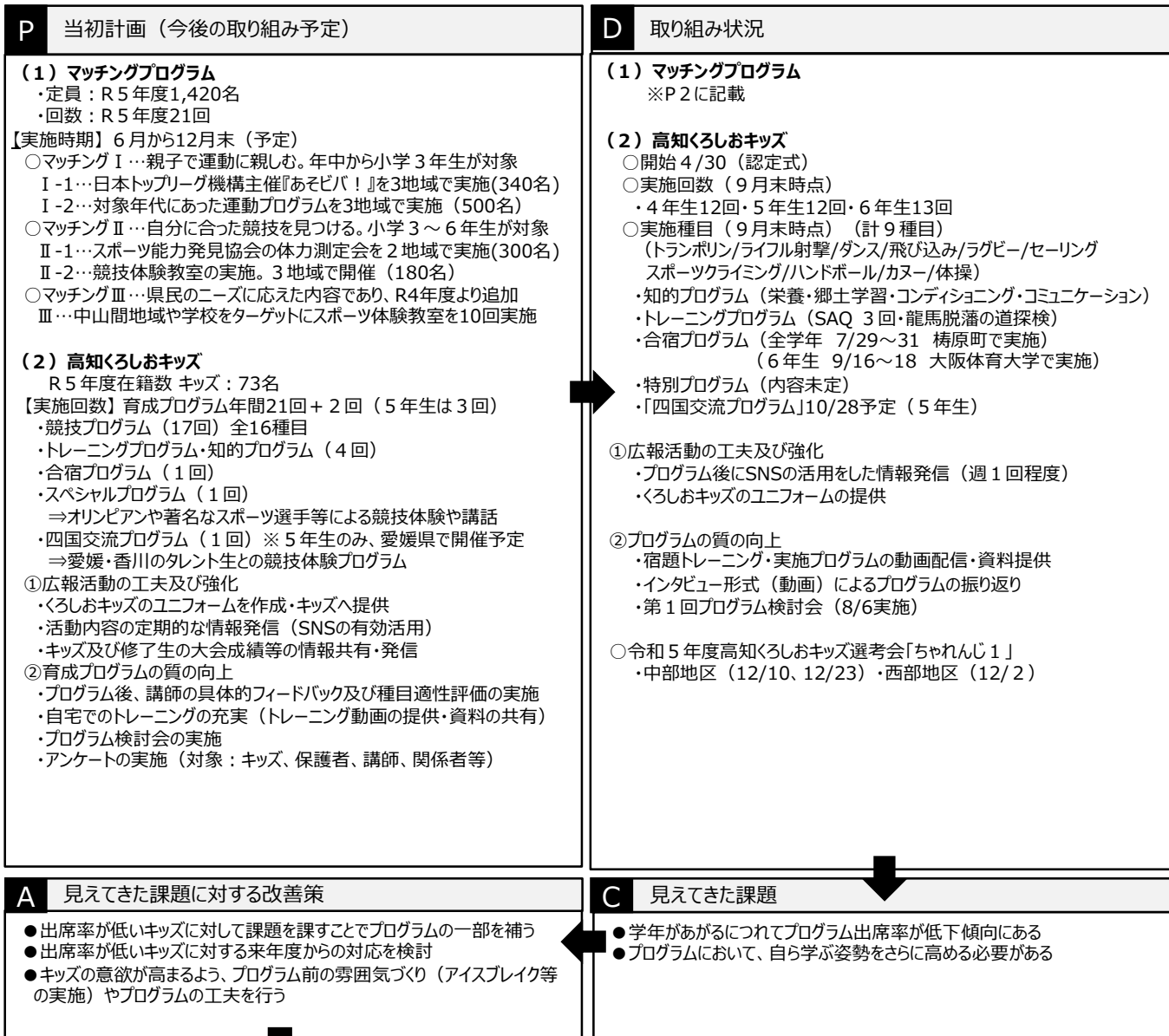
R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み

区分	到達状況	評価
①マッチングプログラムの参加者数：453人	15%	D(A)
②高知くろしおキッズに応募する子どもの数：*人	-	※11月に公募

課題

●県内の有望な選手を発掘し、個々の特性に合った競技に
なく取り組みが県下全域を十分にカバーできていない。

令和5年度の取り組み状況



P 当初計画（今後の取り組み予定）

(1) マッチングプログラム

- ・定員：R5年度1,420名
- ・回数：R5年度21回

【実施時期】6月から12月末（予定）

- マッチングⅠ…親子で運動に親しむ。年中から小学3年生が対象
 - I-1…日本トップリーグ機構主催『あそびバ！』を3地域で実施(340名)
 - I-2…対象年代にあった運動プログラムを3地域で実施(500名)
- マッチングⅡ…自分に合った競技を見つける。小学3～6年生が対象
 - Ⅱ-1…スポーツ能力発見協会の体力測定会を2地域で実施(300名)
 - Ⅱ-2…競技体験教室の実施。3地域で開催(180名)
- マッチングⅢ…県民のニーズに応えた内容であり、R4年度より追加
 - Ⅲ…中山間地域や学校をターゲットにスポーツ体験教室を10回実施

(2) 高知くろしおキッズ

R5年度在籍数 キッズ：73名

【実施回数】育成プログラム年間21回+2回（5年生は3回）

- ・競技プログラム（17回）全16種目
- ・トレーニングプログラム・知的プログラム（4回）
- ・合宿プログラム（1回）
- ・スペシャルプログラム（1回）
 - ⇒オリンピックや著名なスポーツ選手等による競技体験や講話
- ・四国交流プログラム（1回）※5年生のみ、愛媛県で開催予定
 - ⇒愛媛・香川のタレント生との競技体験プログラム
- ①広報活動の工夫及び強化
 - ・くろしおキッズのユニフォームを作成・キッズへ提供
 - ・活動内容の定期的な情報発信（SNSの有効活用）
 - ・キッズ及び修了生の大会成績等の情報共有・発信
- ②育成プログラムの質の向上
 - ・プログラム後、講師の具体的フィードバック及び種目適性評価の実施
 - ・自宅でのトレーニングの充実（トレーニング動画の提供・資料の共有）
 - ・プログラム検討会の実施
 - ・アンケートの実施（対象：キッズ、保護者、講師、関係者等）

D 取り組み状況

(1) マッチングプログラム

※P2に記載

(2) 高知くろしおキッズ

- 開始4/30（認定式）
- 実施回数（9月末時点）
 - ・4年生12回・5年生12回・6年生13回
- 実施種目（9月末時点）（計9種目）
 - （トランポリン/ライフル射撃/ダンス/飛び込み/ラグビー/セーリング
 - スポーツクライミング/ハンドボール/カヌー/体操）
 - ・知的プログラム（栄養・郷土学習・コンディショニング・コミュニケーション）
 - ・トレーニングプログラム（SAQ 3回・龍馬脱藩の道探検）
 - ・合宿プログラム（全学年 7/29～31 梶原町で実施）
 - （6年生 9/16～18 大阪体育大学で実施）
 - ・特別プログラム（内容未定）
 - ・「四国交流プログラム」10/28予定（5年生）
- ①広報活動の工夫及び強化
 - ・プログラム後にSNSの活用をした情報発信（週1回程度）
 - ・くろしおキッズのユニフォームの提供
- ②プログラムの質の向上
 - ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信・資料提供
 - ・インタビュー形式（動画）によるプログラムの振り返り
 - ・第1回プログラム検討会（8/6実施）
- 令和5年度高知くろしおキッズ選考会「ちやれんじ1」
 - ・中部地区（12/10、12/23）・西部地区（12/2）

A 見えてきた課題に対する改善策

- 出席率が低いキッズに対して課題を課すことでプログラムの一部を補う
- 出席率が低いキッズに対する来年度からの対応を検討
- キッズの意欲が高まるよう、プログラム前の雰囲気づくり（アイスブレイク等の実施）やプログラムの工夫を行う

C 見えてきた課題

- 学年があがるにつれてプログラム出席率が低下傾向にある
- プログラムにおいて、自ら学ぶ姿勢をさらに高める必要がある

見直しの方向性

- 高知くろしおキッズの取組の見直しの検討
- 有望選手を発掘・育成する取組の広域での実施の検討

施策の柱 **2** 競技力の向上

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P43

施策の方向性	（2）担い手の育成及び活動の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格のスポーツ指導者の育成 ・スポーツ指導者の発掘及びマッチング ・競技力向上に向けた指導者の資質向上
---------------	-------------------	----------------	---

事業概要	<p>スポーツ指導者の育成及びマッチング 有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・確保する。</p>
-------------	---

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ指導者の指導力が向上している ●有資格指導者の数が向上している 	<p>①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：200人以上／毎年</p> <p>②有資格指導者の数：R4から10%増 ・日本スポーツ協会公認指導者資格：1,419人（R4）→1,560人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：207人（R4）→227人</p> <p>③全高知チームにおける実践研修の実施：全ての全高知チームで実践研修が行われている</p>	<p>①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：200人以上／毎年</p> <p>②有資格指導者の数：R4から2%増 ・日本スポーツ協会公認指導者資格：1,419人（R4）→1,448人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：207人（R4）→211人</p> <p>③全高知チームにおける実践研修の実施：15競技</p>

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #D3D3D3;">区分</th> <th style="background-color: #D3D3D3;">到達状況</th> <th style="background-color: #D3D3D3;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人</td> <td style="text-align: center;">7%</td> <td style="text-align: center;">D(A)</td> </tr> <tr> <td>②有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会公認指導者資格：*人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">※10月公募 A</td> </tr> <tr> <td>③全高知チームによる実践研修の実施：12競技</td> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">C(A)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	到達状況	評価	①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人	7%	D(A)	②有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会公認指導者資格：*人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人	-	※10月公募 A	③全高知チームによる実践研修の実施：12競技	80%	C(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●日本スポーツ協会公認の有資格指導者は増加傾向にあるが、より質の高い指導が行われるよう有資格者を増やすことが必要 ●障害者のスポーツ活動を支援するパラスポーツ指導員は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少している ●スポーツ指導者に、スポーツの楽しみ方や興味・関心がわくような指導ができる人が求められている
区分	到達状況	評価											
①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数：14人	7%	D(A)											
②有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会公認指導者資格：*人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：217人	-	※10月公募 A											
③全高知チームによる実践研修の実施：12競技	80%	C(A)											

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
--------------------------	-----------------

<p>（1）指導者の育成及びマッチング</p> <p>①指導者の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村を通じた指導者へのアンケートの実施（7月～9月） 主な対象：スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者、総合型地域SC関係者 ・リスト化に向けた競技団体、学校等との調整（6月～9月） ・指導者のリスト化（9月～10月） ・新たな指導者の発掘（11月～） <p>②指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームによるトップコーチから学ぶ実践研修（随時） ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会（6月、11月） ・日本パラスポーツ協会指導員要請講習会の開催（1月～） ・高知県スポーツコミッションによる指導者講習会等の開催（9月～） （講習会テーマ案） 地域の特色を生かしたスポーツ振興 部活動地域移行・連携に関する全国的な取り組み 指導者の資質に関するテーマ（例：グッドコーチになるための心得） <p>③指導者のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体や市町村等の依頼に応じて指導者を紹介（随時） ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者体制の整備（6月～） ICT等を活用したオンライン指導のモデル的な取組の実証・検証 指導者バンクの一元的な運用体制の検証 <p>（2）SSCによる研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの資質向上（年間5回の研修） ・上記研修会等のリモートでの実施検討

<p>（1）指導者の育成及びマッチング</p> <p>①指導者の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のリスト化に向けた地域の指導者へのアンケートの実施（9月） ・総合型地域SCへの指導者不足に関するアンケートの実施（9月） <p>②指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームによるトップコーチから学ぶ実践研修（随時） ※9月末時点で12競技が実施 ・日本スポーツ協会公認指導者（スタートコーチ）養成講習会（6/11開催:修了者43名、11/11開催予定） ・日本パラスポーツ協会初級指導員要請講習会（1月～） ・日本パラスポーツ協会中級指導員要請講習会（前期:6/28開催、後期:1/31開催予定） ・高知県スポーツコミッションによる指導者講習会等の開催（9月～） ・新たな地域スポーツ指導者の養成に向けた大学生・専門学校生への意識調査の実施（7月）【再掲】 <p>③指導者のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会・スポーツ協会・県が保有する指導者リストによる紹介（9月末現在：依頼なし） ・高知県スポーツコミッションとの定例会 月1回開催（4/13、5/24、6/29、7/20、8/31） <p>（2）研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者講習会（土佐清水地域：10/29予定）
--

A 見えてきた課題に対する改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●地域のスポーツ指導者に関する調査を行い、具体的なニーズや課題を把握し、市町村に情報提供する ●保護者や地域のスポーツ関係者などに、スポーツを支える役割を担ってもらうための取組を検討し、広域スポーツハブ促進委員会で提案 ●競技経験のない大人が子どもと関わる運動・スポーツの活動や、幼児期のスポーツの必要性に関する理解啓発の取組を検討 ●指導者のマッチングに関する情報の周知

C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●市町村では、スポーツ指導者に関する情報が少ない ●スポーツ少年団の活動などでは、コーチを引き受ける人材の確保に苦慮している

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村が行う子どものスポーツ活動に関わる指導者等の発掘・育成の支援 ■スポーツ指導者やスポーツを支える人材を対象とした研修の充実
----------------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	・プロスポーツ、アマチュアスポーツの誘致 ・地元プロチームのホーム戦への誘客
---------------	-----------------------	----------------	---

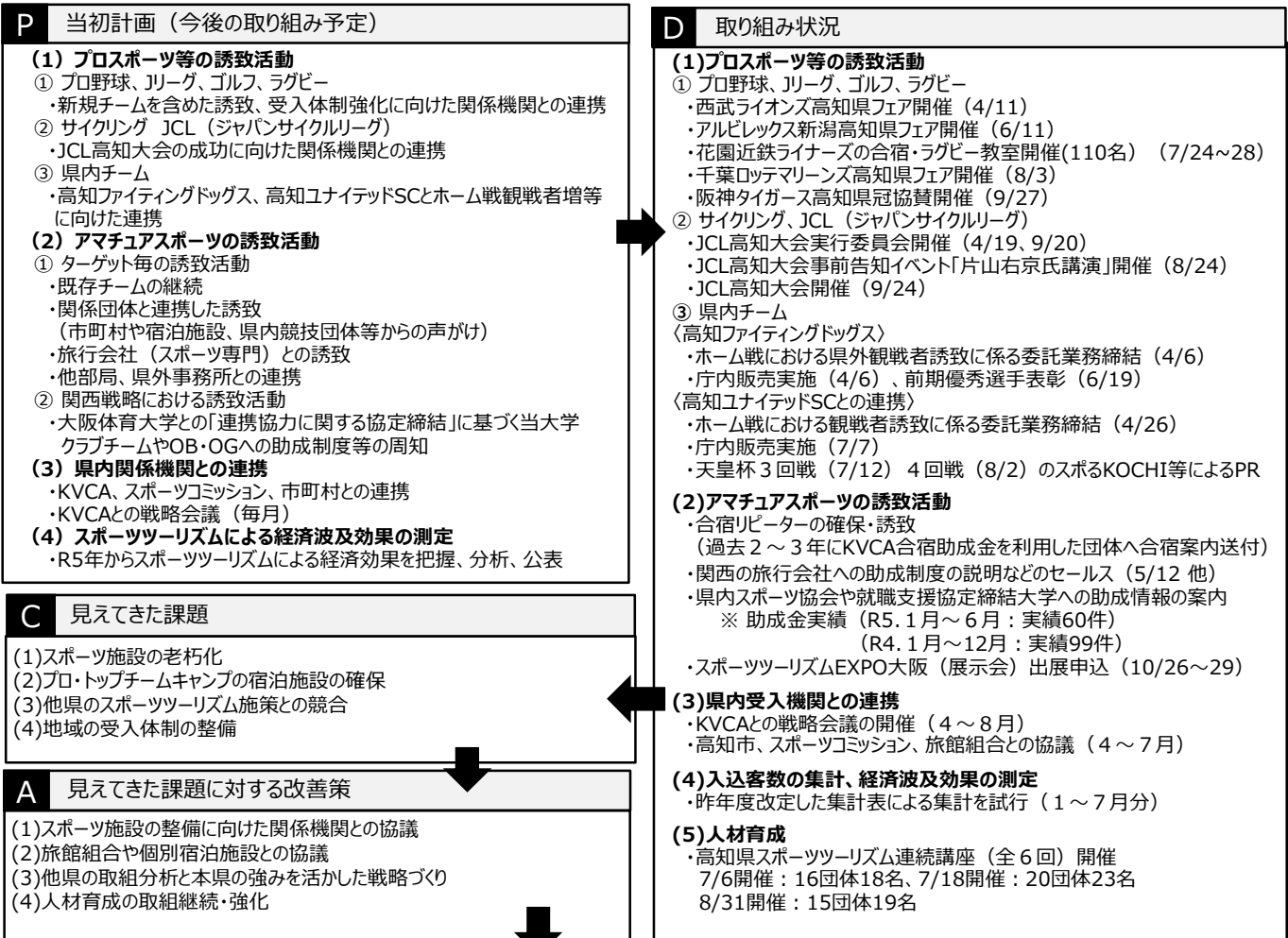
事業概要	プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致 プロ・アマチュアスポーツのキャンプ・合宿・大会の誘致、自然環境など地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化や、スポーツ参加の拡大・競技力の向上につなげる。
-------------	---

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
スポーツツーリズムの推進により、 ●交流人口が拡大している ●スポーツ参加の拡大、競技力の向上につながっている	1 スポーツによる県外からの入込客数：12万人 ① プロ、トップチームのキャンプ・大会：8万人 ② アマチュアスポーツ合宿：1万人 ③ スポーツ大会等：3万人 2 地元プロチーム等のホーム戦の県内外からの入込客数 高知FD：1.2万人 高知USC：2万人	1 スポーツによる県外からの入込客数：6.3万人 ① プロ、トップチームのキャンプ・大会：4万人 ② アマチュアスポーツ合宿：0.6万人 ③ スポーツ大会等：1.7万人 2 地元プロチーム等のホーム戦の県内外からの入込客数 高知FD：9,676人 高知USC：15,036人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題																																																						
(単位：人、暦年) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5目標</th> <th>R5実績</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①プロ</td> <td>74,582</td> <td>28,902</td> <td>4,243</td> <td>32,662</td> <td>40,000</td> <td>18,103</td> <td>45%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>②アマ</td> <td>4,406</td> <td>2,364</td> <td>2,633</td> <td>3,926</td> <td>6,000</td> <td>4,669</td> <td>78%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③大会</td> <td>19,653</td> <td>8,808</td> <td>4,572</td> <td>16,573</td> <td>17,000</td> <td>8,270</td> <td>49%</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9,095</td> <td>9,676</td> <td>6,068</td> <td>63%</td> <td>D(B)</td> </tr> <tr> <td>USC</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13,795</td> <td>15,036</td> <td>5,792</td> <td>39%</td> <td>D(B)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5目標	R5実績	到達状況	評価	①プロ	74,582	28,902	4,243	32,662	40,000	18,103	45%	D(A)	②アマ	4,406	2,364	2,633	3,926	6,000	4,669	78%	D(A)	③大会	19,653	8,808	4,572	16,573	17,000	8,270	49%	D(A)	FD	-	-	-	9,095	9,676	6,068	63%	D(B)	USC	-	-	-	13,795	15,036	5,792	39%	D(B)	●プロ誘致：スポーツ施設の老朽化、宿泊施設の確保、多種目化 ●アマ誘致：受入地域が限定的、合宿時期の分散化、市町村との連携強化 ●大会等：インバウンドの取り込み 魅力あるスポーツ大会の誘致 他部局との連携強化 (スポーツ×観光・食・文化) ●人材の育成、受入体制の強化
区分	R1	R2	R3	R4	R5目標	R5実績	到達状況	評価																																															
①プロ	74,582	28,902	4,243	32,662	40,000	18,103	45%	D(A)																																															
②アマ	4,406	2,364	2,633	3,926	6,000	4,669	78%	D(A)																																															
③大会	19,653	8,808	4,572	16,573	17,000	8,270	49%	D(A)																																															
FD	-	-	-	9,095	9,676	6,068	63%	D(B)																																															
USC	-	-	-	13,795	15,036	5,792	39%	D(B)																																															

令和5年度の取り組み状況

※↑8月末時点



見直しの方向性	●プロ誘致は、本県の受入キャパに応じた誘致活動を行うとともに、本県の競技力の向上につながる施策の強化 ●地域でのスポーツツーリズムの取組強化に向けた人材の育成
----------------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化 (3) デジタル技術の活用	主要な取り組み	・地域におけるスポーツツーリズムの取組の推進 ・サイクルツーリズムの推進 ・県内スポーツツーリズムwebサイト「スボるKOCHI」による情報発信
--------	--	---------	--

事業概要	地域の特徴を活かしたスポーツツーリズムの推進 自然環境など地域の特徴を活かしたスポーツツーリズムやサイクルツーリズムを推進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化や、スポーツ参加の拡大・競技力の向上につなげる。また、「スボるKOCHI」による情報発信、プロモーションを実施する。
------	---

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
スポーツツーリズムの推進により、 ●交流人口が拡大している ●スポーツ参加の拡大、競技力の向上につながっている	1 スポーツによる県外からの入込客数：12万人 2 「スボるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション以上	1 スポーツによる県外からの入込客数：6.3万人 2 「スボるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション以上

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績（暦年）※評価の()は見込み						課題
区分	R4	R5目標	R5実績	到達状況	評価	<ul style="list-style-type: none"> ●スボる高知を活用した情報発信の強化 ●市町村等と連携したスポーツツーリズムの推進 ●サイクルツーリズムを通じたインバウンドの強化
①プロ（再掲）	32,662	40,000	18,103	45%	D(A)	
②アマ（再掲）	3,926	6,000	4,669	78%	D(A)	
③大会（再掲）	16,573	17,000	8,270	49%	D(A)	
④スボるKOCHI	32,587	73,000	78,616	108%	A	
（単位：①～③：人、④：セッション数）						

令和5年度の取り組み状況

※↑8月末時点

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 地域におけるスポーツツーリズムの取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズム連続講座の開催（全6回） ・アマチュアスポーツ合宿支援（助成金） ・自然環境を活かしたスポーツイベントの開催支援（助成金） <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回ジャパンサイクルリーグ（JCL）ロードレース高知大会の開催 ・サイクルツーリズム勉強会（産学官金）の開催 ・セトウチヴェロ協議会タウンミーティングの開催 ・ぐるっと高知サイクリングロードのPR ・サイクルオアシス（スタンド、空気入れ等設置施設）の拡充 ・四国4県連携1,000kmチャレンジの推進 <p>(3) スポーツツーリズムの情報発信やプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スボるKOCHIの充実と周知 	<p>(1) 地域におけるスポーツツーリズムの取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県スポーツツーリズム連続講座（全6回）開催（再掲） 7/6開催：16団体18名、7/18開催：20団体23名、 8/31開催：15団体19名 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCL高知大会実行委員会開催（4/19、9/20） ・JCL高知大会事前告知イベント「片山右京氏講演」開催（8/24） ・JCL高知大会開催（9/24） ・サイクルツーリズム勉強会開催（産学官金） 6/16開催：10団体26名、7/11開催：10団体19名 ・セトウチヴェロ市町村（いの町）ミーティングの開催 8/23開催：中四国から26団体、58名 <p>(3) スポーツツーリズムの情報発信やプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションサイトでの記事配信（6本）及びSNS配信（4～7月） ・スボるKOCHIのデジタルサイネージによる情報発信（帯屋町）（6～7月） ・サッカー天皇杯3回戦（7/12）、花園近鉄ライナーズ合宿（7/24～28）での「スボるKOCHI」のPR ・ラグビートンガ代表VS日本代表のパブリックビューイング（高知市）開催（7/29）110名 ・スポーツ応援大使「豊ノ島氏」就任（8/3）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<p>(1) 地域におけるスポーツツーリズムの取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の受入態勢の充実や地域資源の磨き上げ、スポーツツーリズム戦略の策定などの人材育成の取組継続 ●スポーツツーリズムにおけるインバウンドの取組強化 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第2回JCL大会のプロモーション強化 ●本県の強みを活かしたサイクルツーリズム戦略策定とアクションプランの検討 <p>(3) スポーツツーリズムの情報発信やプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●記事やイベント情報の充実、回遊性を高めるためのwebレイアウトの工夫 	<p>(1) 地域におけるスポーツツーリズムの取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域におけるスポーツツーリズムの担い手やノウハウの不足 ●インバウンド客が増加するなか、取組が未成熟 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昨年の経験を踏まえた第2回JCL高知大会の一層の魅力向上 ●サイクルツーリズムのニーズが高まるなか、戦略的な取組が未成熟 <p>(3) スポーツツーリズムの情報発信やプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昨年度開設したサイトの本格稼働によるプロモーションの強化 ●セッション数増に向けた広告が必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■地域でのスポーツツーリズムの取組強化に向けた人材育成の強化 ■スポーツツーリズムを通じたインバウンドの取組強化 ■本県の強みを活かしたサイクルツーリズム施策の展開
---------	--

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	・高知龍馬マラソン開催、JCL高知大会開催
--------	-----------------------	---------	-----------------------

事業概要	スポーツ大会等の開催及び誘致 高知龍馬マラソン、JCL高知大会の開催を通じて、交流人口の拡大による地域経済の活性化や、スポーツ参加の拡大につながる。
------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標	令和5年度の到達目標
スポーツツーリズムの推進により、 ●交流人口が拡大している ●スポーツ参加の拡大、競技力の向上につながっている	スポーツ大会等による県外からの入込客数：3万人	スポーツ大会等による県外からの入込客数：1.7万人

R5年度の到達目標に対するR5年9月末の実績 ※評価の()は見込み	課題												
(単位：人、暦年) (再掲) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R4</th> <th>R5目標</th> <th>R5実績</th> <th>到達状況</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①スポーツ大会等</td> <td>16,573</td> <td>17,000</td> <td>8,270</td> <td>49%</td> <td>D(A)</td> </tr> </tbody> </table> ※↑8月末時点	区分	R4	R5目標	R5実績	到達状況	評価	①スポーツ大会等	16,573	17,000	8,270	49%	D(A)	高知龍馬マラソン ●10回記念大会を契機とした大会の魅力づくり ●参加定員12,000人の確保（収支バランスの安定） JCL高知大会 ●第2回JCL高知大会の一層の魅力向上
区分	R4	R5目標	R5実績	到達状況	評価								
①スポーツ大会等	16,573	17,000	8,270	49%	D(A)								

令和5年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
(1) 高知龍馬マラソンの開催 ・安心・安全な運営と第10回記念大会に向けた魅力的な大会づくり (2) JCL高知大会の開催（再掲） ・第2回ジャパンサイクルリーグロードレース高知大会の成功	(1) 高知龍馬マラソンの開催 ・実行委員会企画運営委員会の開催（5/26、7/28） ・実行委員会総会の開催（6/2） ・よさこい鳴子祭りで広報物の配布（8/10） ・ランナー募集開始（8/31） (2) JCL高知大会の開催（再掲） ・JCL高知大会実行委員会開催（4/19、9/20） ・JCL高知大会事前告知イベント「片山右京氏講演」開催（8/24） ・JCL高知大会開催（9/24）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
(1) 高知龍馬マラソンの開催 ●ベアリレーの部の創設など、第10回記念ならではの魅力的な企画の検討 ●台湾等の海外からの参加者募集の促進 ●関係機関との綿密な協議と連携 (2) JCL高知大会の開催（再掲） ●第2回JCL大会のプロモーション強化	(1) 高知龍馬マラソンの開催 ●コロナ禍後の参加者数の確保 ●安全・安心の大会運営 (2) JCL高知大会の開催（再掲） ●昨年の経験を踏まえた第2回JCL高知大会の一層の魅力向上

見直しの方向性	■高知龍馬マラソンを通じたインバウンドの推進 （台湾との国際定期チャーター便の活用等）
---------	--

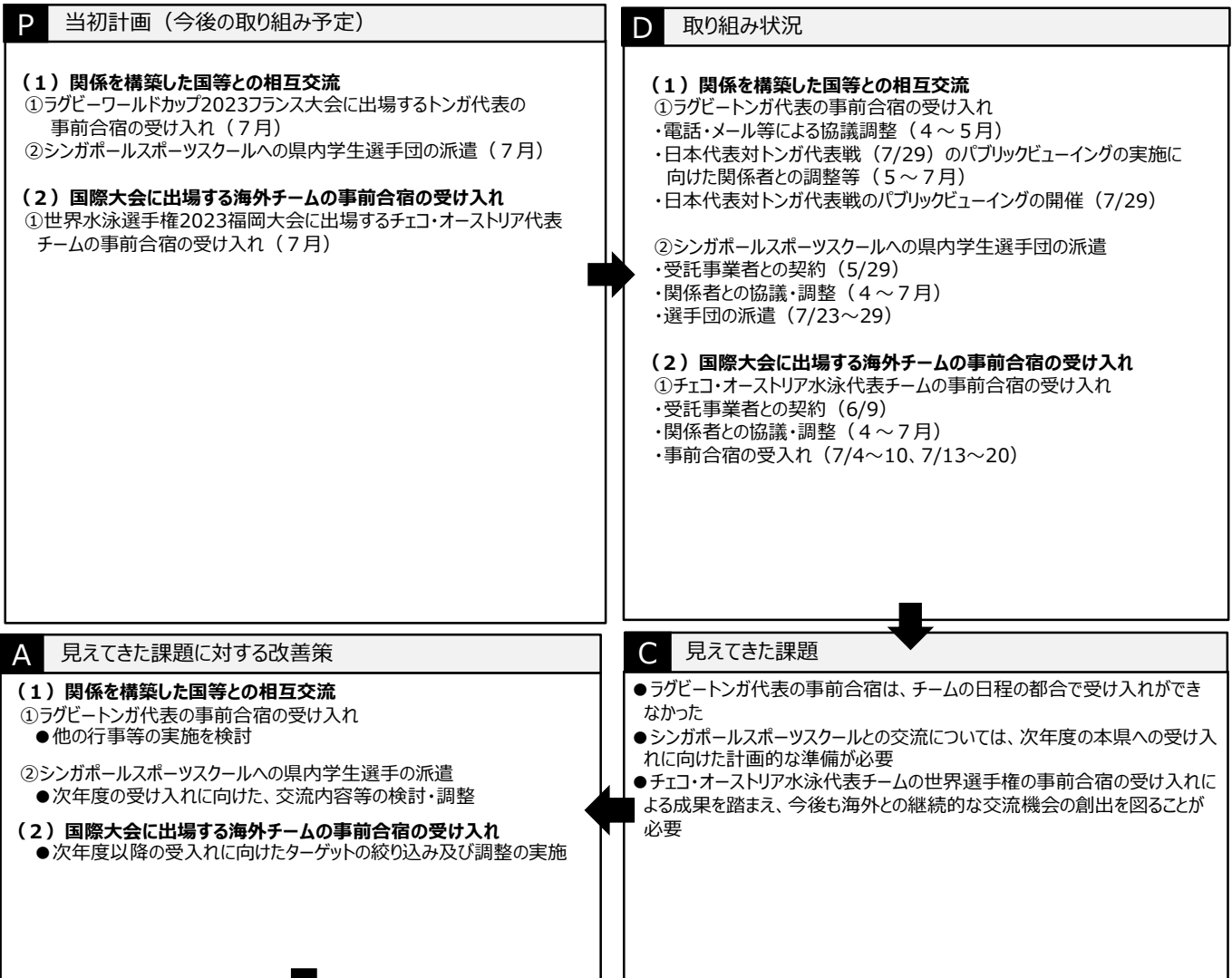
施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン登録国等とのスポーツ交流 ・国際大会の事前合宿の受け入れ
--------	-----------------------	---------	--

事業概要	<p>スポーツを通じた国際交流</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等により関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受け入れにより、スポーツに対する機運醸成と地域経済の活性化を図る</p>
------	--

令和9年度末の目指す姿	令和9年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツを通じた海外との国際交流が継続的に行われ、多くの県民との交流が広がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●海外とのスポーツ交流が継続的に行われている

R9年度の到達目標に対するR5年9月末の実績	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●海外とのスポーツ交流 <ul style="list-style-type: none"> ①チェコ・オーストリア水泳代表チームの事前合宿の受け入れ ②シンガポールスポーツスクールへの県内学生選手団の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京2020大会におけるホストタウンの取組でつながった国や海外チームとの交流をはじめ、スポーツを通じた国際交流の拡充

令和5年度の取り組み状況



見直しの方向性	■ 海外とのスポーツ交流の継続・拡充
---------	--------------------